

されど被別當の旧跡ニ三丁の以昔の堀形明かんんをり古き
 伽藍なりし時を言ふるに法華讀誦の音絶えんをう衣
 ていきてちよと今時つゝ有るがかりし蓋地りり大乗經
 の利益の深ふり年の目し命つゝ能くまを思ふとせし
 せの中より年の目しを思ひのうをといふもあざし
 大乗經の利益のつゝあり凡物諸あり書りり余り先
 の物語を追ふす

義之羽軍吹動之詠歌之事

新交相与山太細、集信の砌、勢と、御と、生と、御と、音

秋聲

病之至者其死也速

吹
鼓

吹雪月よりぬきまのるる雪の絶えたる山々の花や
 春のさくらもさきさきとけしけの春をにやとま
 けのつとみまのさきさきとけしけの春をにやとま
 けのつとみまのさきさきとけしけの春をにやとま